

米国における日本研究の現状

パトリシア・スタインホフ
ハワイ大学

国際交流基金の三つのプロジェクト

➤ 1987－89年

- 第一の名簿アンケート
- 米国－カナダの日本研究者・機関の名簿（2冊, 1989）
- 前書きでデータ解析

➤ 1993－95年

- 第二の名簿とアンケート調査
- 米国－カナダの日本研究者・機関の名簿（3冊, 1995）
- *Japanese Studies in the United States: the 1990s* (1996)

➤ 2004－06年

- 第三の名簿とアンケート調査
- 米国－カナダの日本研究者・機関の名簿（3冊, 2006）
- *Japanese Studies in the United States and Canada: Continuities and Opportunities* (2007)

2005年までの二つのレベルの大きな変化

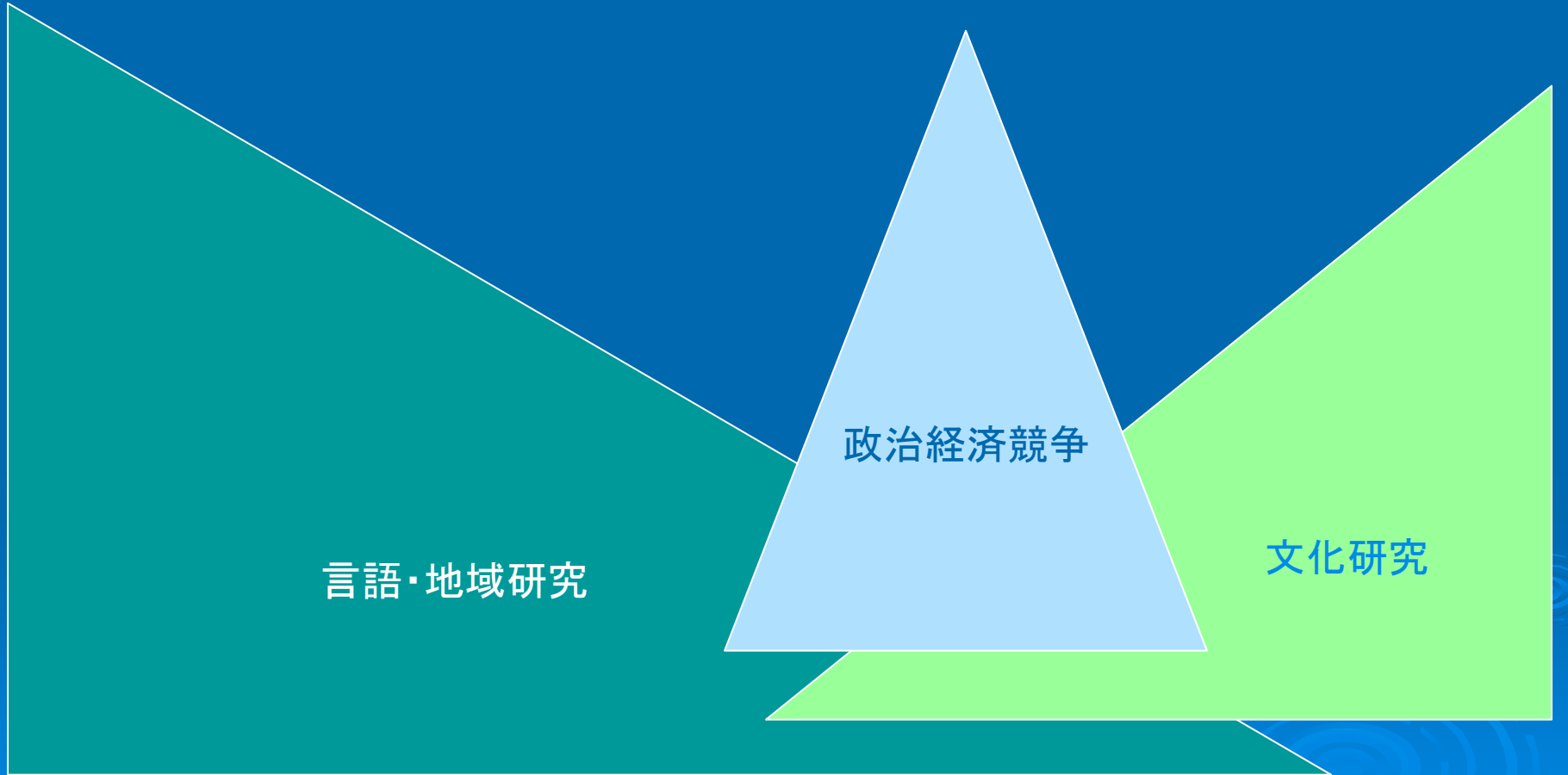
- 内的: 日本研究の中の変化
 - 学術的なパラダイムの変容
 - 研究者の世代交代
 - より求められる日本語能力
- 外的: 社会的、グローバル化による変化
 - IT化の普及
 - IT化による新しい情報資源
 - 簡易化する情報資源へのアクセス

学術的なパラダイムの変容

言語・地域研究

政治経済競争

文化研究



2005年までの変化

年度	1989	1995	2005
日本研究者	1,224	1,552	1,284
博士課程在籍者	412	803	565
機関数 (大学)	108 (286)	247 (440)	184 (348)

1995年以降に失ったもの

- 戦後世代の日本研究者が引退
- 経済競争パラダイムで入ってきた人々
- 弁護士、実業者等の大学外専門職への流出
- 基礎構造無しプログラムの減少

1995年から残っているもの

- 献身的、学問的な日本研究者
- 着々と入学している大学院生
- 既存の日本研究プログラムの充実
 - 教員数
 - スタッフ数
 - 学問分野と研究領域
 - 授業の種類や内容
 - 組織編制の複雑化

日本研究の現状

- 日本研究機関 (348) 184
- 日本研究機関の研究者、スタッフ 1, 652
- 日本研究者12人以上の機関 42
- 日本に関する授業 5, 374
- 日本語の授業 (37%) 1, 757
- 語学以外の授業 3, 617

日本語資料を扱う図書館

日本語冊数	1977	1984	1995	2005
1000- 1999	31	33	36	26
20000- 39000	8	9	9	9
40000+	12	16	23	30
全館	51	58	68	65

1995年と2005年のPCの利用について

パソコンを使わない	9.0	1.2
パソコンを使った英語文章作成	81.9	93.4
日本語専用ワープロ	10.3	7.2
パソコンを使った日本語文章作成	28.5	60.8
Eメールの利用	39.4	96.0
アメリカの英語のデータベースへのアクセス	28.9	87.4
日本の英語のデータベースへのアクセス	8.0	61.7
アメリカの日本語のデータベースへのアクセス	5.3	48.2
日本の日本語のデータベースへのアクセス	3.5	59.9
図書館のオンライン検索	38.9	86.4
量的データの分析のため	10.6	22.0
パソコンへの個人の研究データの保存(英語)	57.4	80.5
パソコンへの個人の研究データの保存(日本語)	16.1	47.5

2005年のPCの新しい利用について

英語のウェブサイトへのアクセス	--	88.0
日本語のウェブサイトへのアクセス	--	76.3
英語のニュースへのアクセス	--	74.9
日本語のニュースへのアクセス	--	60.8
オンライン・ディスカッショングループの利用	--	48.2
学術論文へのオンラインアクセス	--	69.3
音声ファイルの送信や共有	--	44.0
音楽やビデオなどの視聴	--	27.8
英語のオンラインゲームの利用	--	3.7
日本語のオンラインゲームの利用	--	1.0
英語の表計算ソフトやデータベースの作成	--	41.2
日本語の表計算ソフトやデータベースの作成	--	13.5
個人ホームページの作成と運営	--	22.5
日本についての授業用資料の作成	--	55.5

日本語の研究資料の利用

研究資料の 種類	1995			2005		
	人文学	社会科学	全体	人文学	社会科学	全体
第一義的	78.5%	57.8%	63.7 %	89.0%	74.0%	82.6%
第二義的	50.0%	26.7%	36.3 %	58.8%	39.1%	50.9%
#回答者	376	225	833	291	128	534

日本研究の目的

研究目的	1995		2005	
	人文学	社会科学	人文学	社会科学
学問的分野				
学問的出版	84.7%	77.6%	95.2%	97.7%
講演の準備	64.9%	56.0%	57.0%	47.7%
非学問的仕事	17.7%	25.4%	8.9%	10.8%
#回答者	376	225	293	130

経済危機の影響

大学の種類による違い

➤ 私立大学: 寄付金に依存

- 寄付の価値が減少
- 寄付の支出金が減少

➤ 州立大学: 州の予算関係

- 州の予算に依存しているか
- 州の経済状態

大学内の日本研究所の立場

➤ 耐えて進むプログラム

- 寄付金がある
- 大学に根を張っている

➤ 経済的リストラの可能性

- 特別な寄付金がない
- 大学内で周辺的存在